

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	22229008	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	視神経脊髄炎の新たなアストロサイトパチーの疾患概念の確立と病態、治療に関する研究	研究代表者 (所属・職)	糸山 泰人 (独立行政法人国立精神・神経医療研究センター・病院・院長)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>AQP4 に対する抗体が肝要な疾患であるが、その測定方法が国際的なワークショップで tranfection した細胞を使うという解析に難解で Western blot で検出できない構造を認識している。抗体測定法により客観的な方法の開発が望まれる。</p> <p>また、ヒトの抗体と補体ではヒトの細胞は死なないため、この疾患のサイトパチーが真に抗体によるか疑問が残る。補体以外のマクロファージの関与などを組織学的に検索する必要があると思われる。</p> <p>なお、Facs を購入しており、それを患者の末梢血の解析、サイトカインの解析に使用すると記載されているが、使用計画・データが見当たらない。</p> <p>以上、幾つか疑問点もあるが、概ね研究は順調に進められている。</p>	